

## 今後の取り組みについて

生物多様性情報CHM構築までの今後の取り組みについて以下のような工程が考えられる。

平成13年度 検討会の設置、基本設計

3月 生物多様性情報CHM検討会

平成14年度 検討会の設置、メタデータの整備と検索システムの試験運用、詳細設計

4月 生物多様性情報標準案の確定

協力機関へメタデータ試験整備を依頼

5月 メタデータの試験整備（生物多様性センター及び協力機関）

6月 メタデータの試験登録（生物多様性センター）

7月 生物多様性情報CHM試験システムを公開開始（生物多様性センター）

9月 平成14年度第1回検討会

生物多様性情報CHM試験システムの評価

生物多様性標準の確定

システム詳細設計案の検討

9月～11月

詳細設計

12月 平成14年度第2回検討会

詳細設計の評価

1月～3月

運用準備

平成15年度 ハードウェア導入、システム開発、運用試験

平成16年度 正式運用開始